

【設問の概要と設問毎の正答率】

A問題 (主として知識)

設問番号	設問の概要	正答率(%)
1 (1)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	100.0
1 (2)	絶対値が6である数を書く	100.0
1 (3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	79.5
1 (4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	82.1
2 (1)	「1個 $a$ kgの荷物3個と1個 $b$ kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	83.3
2 (2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	96.2
2 (3)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	97.4
2 (4)	等式 $S=1/2ah$ を、 $a$ について解く	87.2
3 (1)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	100.0
3 (2)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	98.7
3 (3)	連立二元一次方程式 $5x-2y=10, 3x-2y=2$ を解く	93.6
3 (4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	94.9
4 (1)	ひし形が線対称な図形か点对称な図形か選ぶ	93.6
4 (2)	$\triangle ABC$ を辺ABが辺ACに重なるように折った線を作図するための線を選ぶ	91.0
4 (3)	長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに $90^\circ$ だけ回転移動した図形をかく	85.9
5 (1)	直方体において、与えられた面に平行な辺を書く	98.7
5 (2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	96.2
5 (3)	与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ	100.0
5 (4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	94.9
6 (1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	100.0
6 (2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを $90^\circ$ に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	98.7
7 (1)	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	98.7
7 (2)	長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ	98.7
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	96.2
9 (1)	比例 $y=5x$ について、正しい記述を選ぶ	100.0
9 (2)	比例のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求める	94.9
9 (3)	反比例のグラフから表を選ぶ	92.3
10	点 $(-2, 3)$ の位置を座標平面上に示す	98.7
11 (1)	一次関数 $y=2x+7$ について、 $x$ の値が1から4まで増加したときの $y$ の増加量を求める	83.3
11 (2)	一次関数 $y=-2x+6$ が表すグラフを選ぶ	94.9
12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	56.4
13	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	97.4
14 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	96.2
14 (2)	反復横とびの記録の中央値を求める	93.6
15 (1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	82.1
15 (2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める	91.0

B問題 (主として活用)

設問番号	設問の概要	正答率(%)
1 (1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	92.0
1 (2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	98.7
1 (3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの原因を確率を用いて説明する	98.7
2 (1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	92.0
2 (2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	86.7
2 (3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	90.7
3 (1)	列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	97.3
3 (2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める	65.3
3 (3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Eが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	98.7
4 (1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ	72.0
4 (2)	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する	64.0
4 (3)	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する	96.0
5 (1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	73.3
5 (2)	通常料金を $a$ としたときの団体料金の何人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	92.0
5 (3)	「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	66.7

【調査結果の分析と今後の改善方策】

【全体を通して】

・計算・求値に関わる事項は基礎的な形式のものは定着していると思われる。

【数学A(主として知識・技能)】

・特定の知識に関することや、文章表現の基礎的な知識がやや不十分である。これらについて偏りなく授業の中で扱いながら、定期テストなどに出題することで知識の定着を目指していく。

【数学B(主として活用)】

・自分の考えの過程を説明したり、自分以外の人に自分の考えを理解してもらうために配慮したりする力が不十分である。「用いるものと用い方」「説明すべき事柄と根拠」「数学的な結果と事象に即した解釈」「前提と結論」といった記述の形式を意識した指導をするとともに、自ら考えを正しく伝える場面を設定した授業形態を多く取り入れていく。